

長尺自転車キャンプツアー 2010

2010春に私物のDAHONを長尺化しましてからというもの、これまでの自転車経験ではありえなかった様な幅の広さで自転車と言う乗り物に取り組んでいます。この夏、以前にエクストラサイクルの動画サイトで見てしまい、いつか自分も、と思っておりました”**幼児を載せてキャンプ道具を積み、家族で自転車キャンプ旅行**”に取り組んでみました。恐らく国内でもあまり例がないであろう、全ての野営道具と幼児を積んでのキャンプツアー。”キャンプ”と言えば自転車との組み合わせが最も多い人生を送ってきた私にとって、実に貴重な経験でした。子供が小さいときにこの自転車に出会ったことに感謝すらした位です。お父さんとしても思い出深いツアーをレポートいたします。



愛車、”麗しの白虎号、キャンプSPL”です。これに、家族分の野営道具一式を積んでいます。往復50k(オフロード含む)積載約40kに見事に耐えてくれました。まず自宅より白石CRへ、大谷地から南郷通を直進し野幌森林公園を横断して、道道46号で左折、野幌総合運動公園より森林公園キャンプ場で一泊。翌日はキャンプ場から、大沢口、トド山口と野幌森林公園を縦断し、白石CRで自宅まで帰る、というルートです。私も妻も、この積載量でこの距離を走るのは初めて、大丈夫かなぁ、。

順調に白石CRから、南郷通にでて、野幌森林公園内に入ってきました。通常私の脚で、レーサーに乗れば1時間ほどで着くところ約4時間かかったので、のんびり自転車旅行を楽しめました。此処は瑞穂池横の広場で、昼食を摂りました。此処から中央線、と言う道に戻るわけですがものすごい勾配で、自転車を押して上がるのが大変！イヤハヤ子供に押させました(笑)。



左の写真は、中央線沿いにある森林の家、と言う施設です。此処で休憩がてら人形展を拝見。ナンセ堪え性のない幼児を乗せてのツアーですので、こまめに止って子供を走らせないと飽きてしまいます。親としては頑張り甲斐があるわけ

ですが、子供にしてみりゃ座っているだけですからね。休憩のたびに林の中に入ったりするわけですが、子供なりに発見が多かったようで、親は休憩できて一石二鳥でした。ここまでで本日の行程の3分の2は消化できました。あとは、アスファルト四一州にでて、気持ちの良いヒーロー道を走ってキャンプ場まで、あとひと頑張りです。右の写真は同行しましたライトウェイのパスチャーです。一見マチャリのようなのですが、飽くまでこいつはスポーツサイクル。フロントパニアバッグにも対応し、7段変速で、峠越えは無理にせよ平地メインの今回のルートを、しっかりと走りきってくれました。



やってきました江別森林公園キャンプ場です。意外に知られていない穴場と言えるでしょう。車で行くには近すぎるのですが、重装備の自転車で行くにはピッタリでした(笑)。此処の存在がなければ、今回のツアーはあり得ませんでしたね。色々制約もあるキャンプ場ですが、久しぶりに”夜の静寂”を味わうことが出来、また来たい所です。車で運搬を前提にしたテントなんかは勿論運ばず、個人装備を如何に家族向けに転用するか、で道具を選び、何とかサイトができました。天気も良かったので、丁度良かったです。軽量化からは趣旨に反しますが、炭火焼を



このような取り組みが出来たのは、私達が札幌に住んでいる、こんな近くに豊かな自然がある、静かな野営場がキチンと運営されている、故の事ですので、それに関しても大いに感謝。きつくて痒くて大変なツアーに付き合ってくれた妻にも心から感謝しつつ、、、また行きたいものですね。